

2016 年 10 月 27 日
株式会社産業革新機構
株式会社博報堂

産業革新機構と博報堂がエコシステム構築に向けてコラボレーションを実施
～「投資×経営×クリエイティブ」による社会的インパクトの創出～

株式会社産業革新機構（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）と株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：戸田裕一、以下「博報堂」）は、社会的なインパクトの創出やベンチャーエコシステム構築に向けて、INCJ と博報堂「恋する芸術と科学」ラボとのコラボレーションを実施していくことに合意しました。



産業革新機構 勝又社長（左）と博報堂 戸田社長

INCJ では、これまで様々な分野でベンチャー投資を行ってきましたが、さらに革新的なベンチャー投資事例を創出・育成するには、従来の技術力や事業性からの発想である論理的思考に加えて、顧客への共感・観察・洞察から本質的な価値を求めるデザイン思考が極めて重要であることを強く認識していました。

一方、博報堂は、2015 年、「文理芸と産官学の垣根を超えた専門性の融合によって、未来を創造する」をコンセプトに「恋する芸術と科学」ラボを立ち上げ、長期視点での社会トレンドを踏まえた企業成長へのシナリオサポートやクリエイティブコンサルティング業務を行っています。さらに、産官学融合のプロジェクトなどの推進にも取り組んでいます。

このような背景のもと、両者は、INCJ が持つ投資運営能力と博報堂「恋する芸術と科学」ラボのソーシャルデザイン力やクリエイティブコンサルティング力を融合すれば、

投資分野において「デザイン思考」を取り入れた新たな「オープン且つ創造的な取り組み」の実践ができると判断しました。さらに、両者は、このコラボ活動を通して、より本質的な価値を有し、社会へのインパクトが期待される革新的なベンチャー企業の創出や育成を目指します。

今回のコラボレーションに際し、INCJの勝又社長は、「今回のコラボは、左脳の発想と右脳の発想の融合を目指した投資ファンドの新たな試みであり、その成果に大いに期待しています」と語りました。また、博報堂の戸田社長は、次のように語りました。「博報堂が大切にするクリエイティビティを通じて、多様なベンチャー企業を支援し、日本の産業界の成長に貢献したいと考えます」。

両者は今後、次のような具体的課題に取り組んでまいります。

1. INCJ 投資企業に対し、フェーズ毎にデザイン思考によるソリューションを提供
2. 社会や生活者への共感・観察・洞察等を通じて発掘した案件に対し、投資検討・支援を実行
3. 博報堂と INCJ がアイデア構想から検討を始め、社会的インパクトのある案件を共創
4. デザイン思考導入に係る重点企業以外の INCJ 投資企業へのクリエイティブ面でのコンサルティング

株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJは、2009年7月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約2兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

<http://www.incj.co.jp/>

株式会社博報堂について

博報堂は「生活者発想」と「パートナー主義」という2つのフィロソフィーのもとで、日々革新を続けています。高いクリエイティビティを持つプロフェッショナルがチームを編成し、広告領域のみならず、戦略構築から社会的なムーブメントの創出まで、あらゆる領域においてクライアントの皆様の課題解決をお手伝いしています。マーケティング環境の変化を先取りし、統合マーケティング・マネジメント力でクライアントの事業価値を向上させる世界一級のマーケティング・カンパニーを目指していきます。

<http://www.hakuhodo.co.jp/>

博報堂「恋する芸術と科学」ラボについて

文理芸と産学官の壁を超えて、新しい未来を創るデザインチームです。

代表：市来健太郎（シニアクリエイティブディレクター）

設立：2015 年 4 月

活動内容：

- ソーシャルデザインへの研究開発及び出版
- クリエイティブコンサルティング業務
- 大学機関との創造的な連携
- 政府機関、地方自治体への成長戦略立案
- 投資機関との連携による「投資×経営×クリエイティブ」のビジネススキーム

以上

＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社産業革新機構 広報	入江、坂井	TEL：03-5218-7202
株式会社博報堂 広報室	竹本、西尾	TEL：03-6441-6161